H30.5.17　CB.6.2
CB.6.3
CB.6.4

りんご栽培におけるIPMの実践

CB.6.2　予防；病虫害の発生や程度の低減のための計画

1　病害が発生しない園地づくり
・炭疽病の伝染源となるニセアカシアの除去
・園地の排水性を高め、明きょ・暗きょ排水を設置し病虫害の発生を抑える

2　病害果の早期処理
・黒星病などの病果を発見した場合は、直ちに摘み取り、園外で適切に廃棄処分を行う。

3　園地内の清掃計画
・選定枝、落果は集めて処分する。
・徒長枝の整理により、風通しを良くすることで病虫害の温床を防ぐ

CB.6.3　観察とモリタリング；病虫害の存在・発生確認のための計画

1　ハダニ類の発生程度について調査をする
・１葉あたり２匹以上寄生しているか
・寄生葉率が５０％以上になっているか
・どちらも該当した場合、防除を実施する

CB.6.4　介入；適切な防除計画

1　防除のために必要な情報を得るために
・防除暦による予測と〇〇〇商事さんと相談して決定する。
・生産情報から情報を入手している。

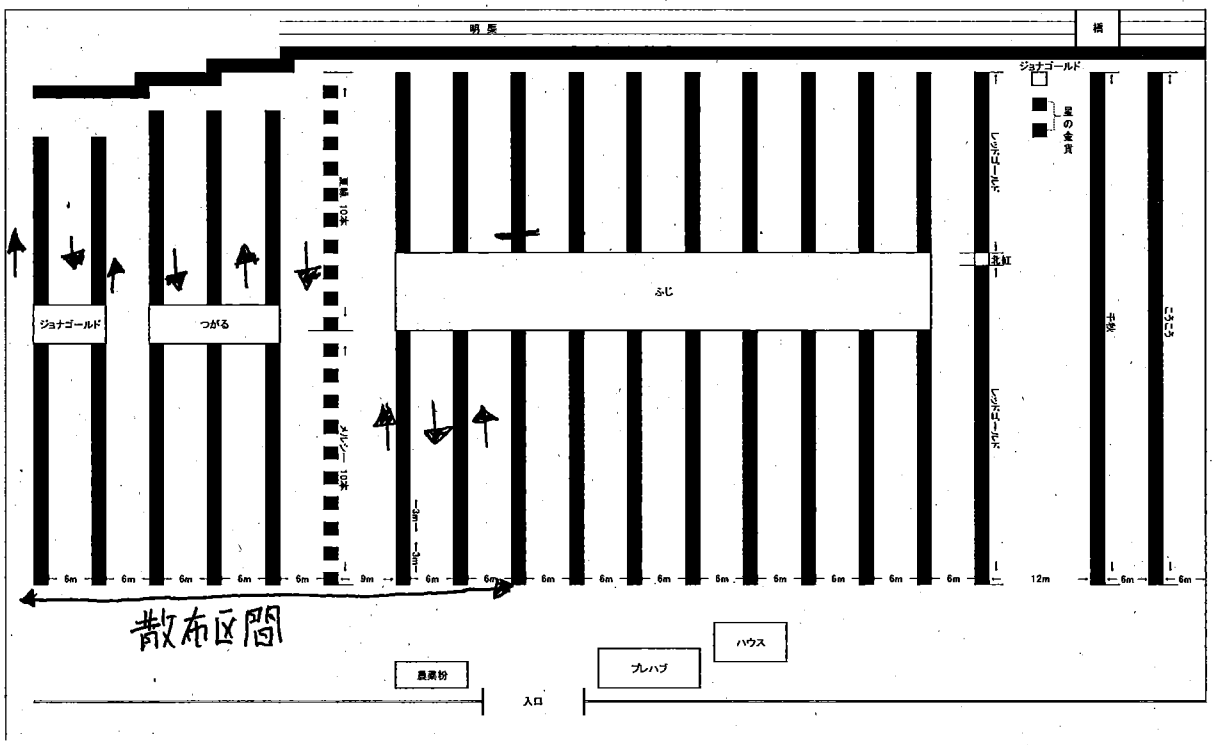
CB 8.1
8.2

SS吐出量　チェック表

2018 年 4 月 4 日　担当者：工藤　木村

チェック事項		実施したら○印
タンク内の水は満タンか	→	1000 ℓ
散布方向は３方向になっているか	→	走行前のチェック
散布時の回転数は2000回転になっているか	→	走行時確認
ギアは中の２または１、低の３になっている	→	走行時のギアを記入 中2
走行時間は何分だったか	→	散布終了後記入 14 分

チェック時に走行した区間を記入↓



農薬計量機較正手順

１　対象　　はかり
　　ビーカー

２　機関　　シーズン初めに１回行う

３　計量方法　　水１Ｌを購入し、重量計測
　　ビーカーで容量計測

４　結果の記録　　下記に結果を記録する

較正手順	較正対象	結果		備考
		良	否	
	はかり ビーカー	□ □	□ □	
	はかり ビーカー	□ □	□ □	
	はかり ビーカー	□ □	□ □	
	はかり ビーカー	□ □	□ □	
	はかり ビーカー	□ □	□ □	
	はかり ビーカー	□ □	□ □	

農薬を誤って誤飲、体へ付着した場合の対処表

① 被爆者の事前審問

・飲み込んだのか付着したのか？
・農薬の種類やラベルの確認
・農薬の濃度や農薬の剤型の確認

② 農薬中毒の治療

(1) 経口摂取の時

・催吐：指またはスプーンの柄などを口中に入れて吐かせる
・胃洗浄：一時間以内に実施していてください
一時間以上経過していたとしても原則行ってください

(2)活性炭の繰り返し投与

・活性炭の投与：活性炭で吸着できないヒ素やフッ素化合物などを除きほとんど
すべての中毒で活性炭による治療が推奨されます

(3)皮膚、衣服に付着したとき

・汚染した衣服を脱がせ、皮膚を大量の水で洗浄してください
また洗浄は最低１５分程度行ってください

(4)目に入った場合

・ただちに蛇口などから流水で洗ってください
（コンタクトなどは外す）十分に洗浄をし続けてください

③ その他の必要な応急処置

(1)安静・保温・誤嚥予防

・衣服を緩めて寝かせ吐いているとき、また、その恐れがある時は横向きにしてください

(2)呼吸管理

・呼吸障害がみられた場合、また、低血圧、意識障害がある時には酸素吸入を行ってください

(3)輸液

・必要に応じて輸液を行います。中毒患者は一般に多めの輸液量で管理します。農薬の種類
によって肺水腫を起こすことがあるので急速輸液には十分な注意が必要です

H30.5.24
製作者
FV5.1.2

収穫時の手順書

１　物理的な汚染要因

袋、輪ゴム、つまようじは、異物混入が予想されるため、用具を一か所にまとめる。

２　科学的な汚染要因

薬品による汚染が予想されるため、事前に収穫圃場に薬品がないか確認しておく。薬品があった場合は、薬品を薬品保管庫に移す。

３　微生物的な汚染要因

・　土壌微生物によってリンゴが腐ることが予想されるため、かごや手かごは収穫前（８月）と収穫後（１２月）に洗浄している。また、収穫中にかごや手かごの泥が付かないようにブルーシートを敷いている。

・ 収穫物を収穫する前は手に雑菌がついている可能性があるため、管理センターまたは耕心庵の水道で手洗いを行うこと。

・ 収穫物に血が付く可能性、収穫物への病原微生物からの汚染等が考えられるため、作業者で切り傷があり出血している場合、傷口を覆って作業する。

・ 人間の分泌物によって収穫物が汚染される可能性があるため、作業者は収穫作業場である圃場にたんを吐かない。

・ 感染症のウイルスが収穫物に付着する可能性があるため、感染症（疑いも含む）の方は立ち入りを禁止します。

・ 病気だった作業者が回復し作業に復帰する場合、先生が一度その作業者の体調を確認したのちに作業させる。

H30.5.24
製作者
FV5.1.2

選果時の手順書

１　選果前に手を洗いましょう

２　選果専用の手袋を着用しましょう

（切り傷がある場合はしっかり覆いましょう）

３　選果作業場での飲食を禁止します

４　感染症（疑いも含む）の方は立ち入りを

禁止します

５　衣服に汚れがある場合は立ち入りを

禁止します

６　選果作業時に選果場にたんを吐くのはやめましょう

７　病気だった作業者が回復し作業に復帰する場合、先生がその作

業者の体調を確認したのち作業をさせましょう

８　見学者は１～７のルールを守ってください

ＦＶ．５．４．１０　硬化プラスチックの取り扱い手順

表　果樹部門で使用する硬化プラスチック

Ｎｏ	項目	物品等	利用方法	備考
1	梱包材	コンテナ	果実の保管	破損しにくい
2	保管資材	パレット	果実の移動	フォークリフトを使用する 破損しやすい

コンテナ・パレットの取り扱い

１　コンテナについて

（１）　リンゴで使用するコンテナは「五農林」「五農林　果樹」「五農林　果樹部」と書いたもののみを使用する。他部門のものは使用しない。

（２）　コンテナが破損した場合には直ちに作業を中断し、安全を確保してから破片を集め、産業廃棄物として処分する。

（３）　作業者からの病原微生物による汚染が無いよう、専用手袋の着用または手の洗浄を心掛けて触るようにする。

２　パレットについて

（１）　リンゴで使用するパレットは、黒のものを利用する。

（２）　異物混入や汚染が予想される場合は使用せずに洗浄する。

（３）　フォークリフトを操作するものはフォークリフト作業免許を有し、その証書を所持する

（４）　パレットが破損した場合は直ちに作業を中断し、安全を確保してから破片を集め、使用できないと判断したものは産業廃棄物として捨てる。

手順作成者　学年：　　氏名：　　学科名：

指　導　者　教諭：

AF8.1
H30.5.15

ＧＬＯＢＡＬＧＡＰ　　苦情対策シート

１．苦情の内容

①発生日時	
②苦情申し立て者 （連絡先）	
③苦情の内容	

※内容によっては認証機関を通して GLOBALG.A.P 事務局に通知する。

２．原因の分析

３．対策立案

４．対策の検証、歯止め

廃棄物リスト及び廃棄物リサイクル計画　　H30.8.7　AF6.1.1

対象物	可燃	プラ	不燃物	その他	廃棄方法
リンゴの木に由来するもの					
剪定枝	○				剪定枝のチップをしたあとにブルーベリーの根元の雑草防止している
摘果した果実	○				土へかえしている
落ち実	○				食べれる物は加工用として業者に出している
栽培行為により発生する物					
肥料袋		○			不燃物ごみとして廃棄
農薬容器		○			3回以上すすいだ上で不燃物ごみとして廃棄
段ボール	○				可燃物ごみとして廃棄
作業者に由来する物					
弁当、菓子箱等の廃棄物	○				自宅持ち帰り
飲料ペットボトル		○			自宅持ち帰り
飲料カン			○		自宅持ち帰り
飲料瓶			○		自宅持ち帰り
まき残した薬液				○	非耕作地に廃棄
防除タンクの濯ぎ水				○	非耕作地に廃棄

清掃記録表　ライスセンター

日付	開始時間		清掃者代表氏名	備考（破損等）
／	開始	:		
	終了	:		
／	開始	:		
	終了	:		
／	開始	:		
	終了	:		
／	開始	:		
	終了	:		
／	開始	:		
	終了	:		
／	開始	:		
	終了	:		
／	開始	:		
	終了	:		
／	開始	:		

©2018 岩見沢農業高校 GAP プロジェクトチーム

清掃点検チェック表	清掃場所			月		
清掃点検チェックポイント	日（曜日）	担当	①	②	③	④
①：全体の掃き掃除	1日（ ）					
②：作業台の消毒・清掃	2日（ ）					
③：ゴミ処理（※たまっていた場合）	3日（ ）					
④：道具の有無点検	4日（ ）					
	5日（ ）					
	6日（ ）					
	7日（ ）					
	8日（ ）					
	9日（ ）					
	10日（ ）					
	11日（ ）					
	12日（ ）					
	13日（ ）					
	14日（ ）					
	15日（ ）					
	16日（ ）					
	17日（ ）					
	18日（ ）					
	19日（ ）					
	20日（ ）					
	21日（ ）					
	22日（ ）					
	23日（ ）					
	24日（ ）					
	25日（ ）					
	26日（ ）					
	27日（ ）					
	28日（ ）					
	29日（ ）					
	30日（ ）					
	31日（ ）					

©2018 岩見沢農業高校GAPプロジェクトチーム

様式2

毒物及び劇物受払・点検記録簿

品　名（記　号）	規　　格	区　　分		薬品番号
		法規制	性質・作用	
エルサン乳剤	500ml	劇物	赤黄色澄明可乳化油状液体	農劇　2

年月日	項　　目	受入数量		払出数量		現在量		備　考	確認者		
		風袋込重量	(実重量)	風袋込重量	(実重量)	風袋込重量	(実重量)		校　長	管理責任者	担　当
28. 4. 1	繰越					46	0	風袋のみ			

©©2018 岩見沢農業高校GAPプロジェクトチーム

様式3

校　　長	教　　頭	事務長（物品管理主任）	取扱責任者		担当者

理科薬品等点検・確認票

次のとおり、理科薬品等の点検・確認を行いましたので、報告します。

確認者　職・氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

点検者　職・氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

点検年月日　　平成　　年　　月　　日

項　　目		一　般　薬　品	毒物及び劇物	備　　考
前回点検・確認時の薬品総数		種類　　本	種類　　本	
増	購入等による増	種類　　本	種類　　本	
減	廃棄等による減	種類　　本	種類　　本	
今回の点検・確認薬品総数（保有総数）		種類　　本	種類　　本	
特　記　事　項				

※　破損、紛失等、薬品に異常があった場合は、「特記事項」欄に、具体的な内容を記載すること。
※　回付の際は、点検・確認した薬品の受払・点検記録簿を添付すること。
※　薬品が入っている容器の形状にかかわらず、1本と数えること。

リコール記録書

<table>
<tr><td>リコール受信日</td><td colspan="2">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">指摘先</td><td>名称・氏名</td><td></td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td></td></tr>
<tr><td>受信者</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>指摘内容</td><td colspan="2">異物　・　残留農薬　・　細菌　・　その他（　　）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">販売先情報</td><td>名称</td><td></td></tr>
<tr><td>住所</td><td></td></tr>
<tr><td>商品名を確認</td><td>Yes　・No</td><td></td></tr>
<tr><td>商品識別番号確認</td><td>Yes　・No</td><td></td></tr>
</table>

©2018 岩見沢農業高校 GAP プロジェクトチーム

岩見沢農業高校

場所

ラットトラップ点検表

掃除をした日			点検をした人の名前		確認者	
年	月	日	学年	名前	学年	名前

H30,7.31.

©2018 岩見沢農業高校 GAP プロジェクトチーム

ゴミ廃棄ルール（益城町）

ゴミの種類	袋の種類	内容
燃えるゴミ	透明袋	燃やすことのできるゴミ
資源ゴミ（ペットボトル専用）	青色袋	ペットボトルのキャップは燃えるゴミで、ペットボトルの容器のみ
資源ゴミ（ビン、空き缶、アルミ缶）	黄色袋	ビン、空き缶（スチール缶、アルミ缶）
燃えないごみ	緑色袋	鉄くず、ガラス、陶器類、蛍光灯、電球、乾電池、アルミ容器類など
農薬空容器ゴミ	農薬回収袋	農薬の空容器全てが対象。JA 支所に持ち込み
		回収は随時。JA 上益城益城支所購買部（096-286-8989）連絡後持ち込み
農業生産関連資材ゴミ	JA 回収	ビニール、ポリマルチ、肥料袋など。指定日に持ち込み
		回収は JA 指定日に指定地持ち込み。
その他のゴミ	産業廃棄物業者	種子容器、コンテナ、フレコンバッグ、ロータリー爪など上記のどれにも当てはまらないもの。
		益城町指定産業廃棄物処理業者（出崎商会：096-286-2408）に連絡後回収

©2018 岩見沢農業高校 GAP プロジェクトチーム

農薬一覧表（殺虫剤）①

作成日： H29.10.25
改定日：

No	登録番号	農薬名	成分名	総成分数	毒性	用途	適用病害虫	使用量（g,kg）液量（ℓ/10a）	希釈倍数（倍）	製造メーカー	使用時期使用場所	使用方法	農薬の総使用回数	適用作物名
1	19102	ベストガード水溶剤	ニテンピラム		普		アブラムシ コナジラミ	100～300/10a	1,000～2,000	住友化学	前日	散布	3回	キュウリ トマト
2	20798	ダントツ水溶剤	クロチアニジン		普		アブラムシ コナジラミ ハモグリ	100～300/10a	2,000～4,000	住友化学	前日	散布	3回	キュウリ トマト
3	19842	アファーム乳剤	エマメクチン		普		ハモグリ ヨトウムシ	100～300/10a	2,000	シンジェンタジャパン	前日	散布	2～5回	キュウリ トマト ハクサイ キャベツ
4	16094	ニッソラン	ヘキシチアゾクス		普		ハダニ	100～300/10a	2,000	日曹	前日～3日	散布	2回	キュウリ メロン
5	15677	アプロード水和剤	ブプロフェジン		普		コナジラミ幼虫	100～300/10a	1,000～2,000	日本農薬	前日	散布	3回	キュウリ トマト
6	20961	アルバリン顆粒水溶剤	ミノテフラン		普		コナジラミ アブラムシ	100～300/10a	2,000～3,000	三井化学アグロ	前日	散布	2回	キュウリ トマト
7	19114	モスピラン粒剤	アセタミプリド		普		コナジラミ コナガ	1g/株	－	日曹	定植時	株元散布	4回	トマト
8	10438	ダイアジノン粒剤	イソプロピルジエチルチオホスフェート		普		ネキリムシ	4～6kg/10a	－	日本化薬	は種又は定植	混和	3回	トマト
9	20737	マラソン乳剤	マラソン		普		アブラムシ イリハムシ ハダニ	100～300/10a	1,000～3,000	住友化学	前日	散布	3～5回	キュウリ トマト ナス キャベツ
10	22583	モスピラン	アセタミプリド		劇		コナジラミ	100～300/10a	2,000	日曹	前日	散布	3回	キュウリ トマト
11	18211	アドマイヤー水和剤	イミダクロプリド		劇		タバココナジラミ	100～300/10a	2,000	バイエルクロップサイエンス	前日	散布	2～5回	トマト
12	19186	コテツフロアブル	クロルフェナピル		劇		ナミハダニ ウリハムシ	100～300/10a	2,000	日曹	前日	散布	3回	キュウリ トマト
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

農薬一覧表（殺菌剤）②

作成日： H29.10.25
改定日：

No	登録番号	農薬名	成分名	総成分数	毒性	用途	適用病害虫	使用量（g,kg）液量（ℓ/10a）	希釈倍数（倍）	製造メーカー	使用時期使用場所	使用方法	農薬の総使用回数	適用作物名
1	19100	フルピカフロアブル	メパニピリム		普		灰色かび病 うどんこ病	100～300/10a	2,000～3,000	日曹	前日	散布	4回	キュウリ トマト
2	22144	アミスターオプティ	アゾキシストロビン		普		うどんこ病 えき病	100～400/10a	1,000	シンジェンタジャパン	前日	散布	4回	キュウリ トマト
3	16824	ダコニール1000	テトラクロロイソフタロニトリル		普		べと病 えき病	100～300/10a	1,000	クミアイ化学工業	前日～7日	散布	4～8回	キュウリ トマト
4	22771	フォリオゴールド	メタラキシルM		普		えき病 葉かび病 うどんこ病 べと病	100～400/10a	800～1,000	シンジェンタジャパン	前日	散布	3～4回	キュウリ トマト
5	17203	スターナ	オキソリニック酸		普		軟腐病	100～300/10a	1,000	住友化学	7日	散布	3回	ハクサイ
6	21117	パンチョTF	シフルフェナミド		普		うどんこ病	100～300/10a	2,000	日曹	前日	散布	2回	キュウリ
7	21292	オーソサイド	キャプタン		普		苗立枯病	－	800	アリスタライフサイエンス	は種～育苗	散布	5回	キュウリ
8														
9	6072	トマトトーン	4-CPA				着果促進	－	50～100	石原バイオサイエンス	開花3日	散布	1回	トマト
10	6007	ジベレリン	ジベレリン				空洞果防止	5mℓ/花房	10ppm	共和発酵	開花	散布	1回	トマト
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

管理点24.2.2、24.3.7

農薬散布指示書

責任者確認印		作業者印	
作業日時	年　　月　　日　　時間:		
作物名		圃場番号	
農薬名			
希釈倍数			
使用量			
使用機械			

有効成分、収穫前日数、適用病害虫については農薬リストを確認のこと

散布液の調製時にラベルを再確認のこと

農薬在庫管理簿（その他）農薬名

農薬名	使用月日，使用作物，使用濃度，使用量，残量					
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
購入日、更新日	使用月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
	使用作物					
	使用濃度					
	使用量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml
	残量	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml	本・g・ml

©勢田農林GAPプロジェクトチーム

農薬在庫管理簿（殺虫剤）農薬名：マラソン乳剤

農薬名	使用月日，使用作物，使用濃度，使用量，残量					
マラソン	使用月日	30年4月6日	30年4月12日	30年4月19日	30年4月24日	30年5月7日
残量233ml	使用作物	各種苗	各種苗	各種苗	各種苗（ちゃ）	各種苗
	使用濃度	2,000	2000	2,000	2000	2000
購入日、更新日	使用量	20 g・ml	30 25 g・ml	40 g・ml	50 g・ml	15 g・ml
H30.4.1	残量	213 g・ml	183 g・ml	143 g・ml	93 g・ml	78 g・ml
	使用月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
残量578ml	使用作物					
	使用濃度					
購入日、更新日	使用量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
H30.5.9	残量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	使用月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用作物					
	使用濃度					
購入日、更新日	使用量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	残量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	使用月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用作物					
	使用濃度					
購入日、更新日	使用量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	残量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	使用月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用作物					
	使用濃度					
購入日、更新日	使用量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	残量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	使用月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用作物					
	使用濃度					
購入日、更新日	使用量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	残量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	使用月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用作物					
	使用濃度					
購入日、更新日	使用量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	残量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	使用月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用作物					
	使用濃度					
購入日、更新日	使用量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	残量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	使用月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用作物					
	使用濃度					
購入日、更新日	使用量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml
	残量	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml	g・ml

残留農薬検査計画及びサンプリング方法

農場名:　　群馬県立勢多農林高等学校

項目	手順
1　検査時期	分析の時期は化学合成農薬の散布回数が多い　3月～　6月の 野菜品目:　トマト　　が出荷される　1月～　6月のものとする。
2　検査圃場	平成　29　年度は　　温室A及び温室B　　のほ場を対象とする。
3　検査成分	使用計画の農薬の中から最も散布回数の多い成分または、最も散布時期が収穫時期に近い成分をが含まれるよう様にする。
4　サンプリング場所	検体のサンプリングは下記図を参考に一番リスクの高い点を選んでサンプリングする。
5　検査回数	少なくとも年1回以上実施する。 分析を依頼する際はサンプリング日時、圃場を特定できるようする。
6　分析機関	株式会社ベジテック　　理化学分析センター 〔ISO/IEC17025　-放射線試験・残留農薬試験-　認定試験所(範囲限定)〕
7　確認・記録	検査結果から農薬使用が適正か否であったかどうか確認し保管する。 基準値違反があった場合は対応マニュアル(帳票)に従う。

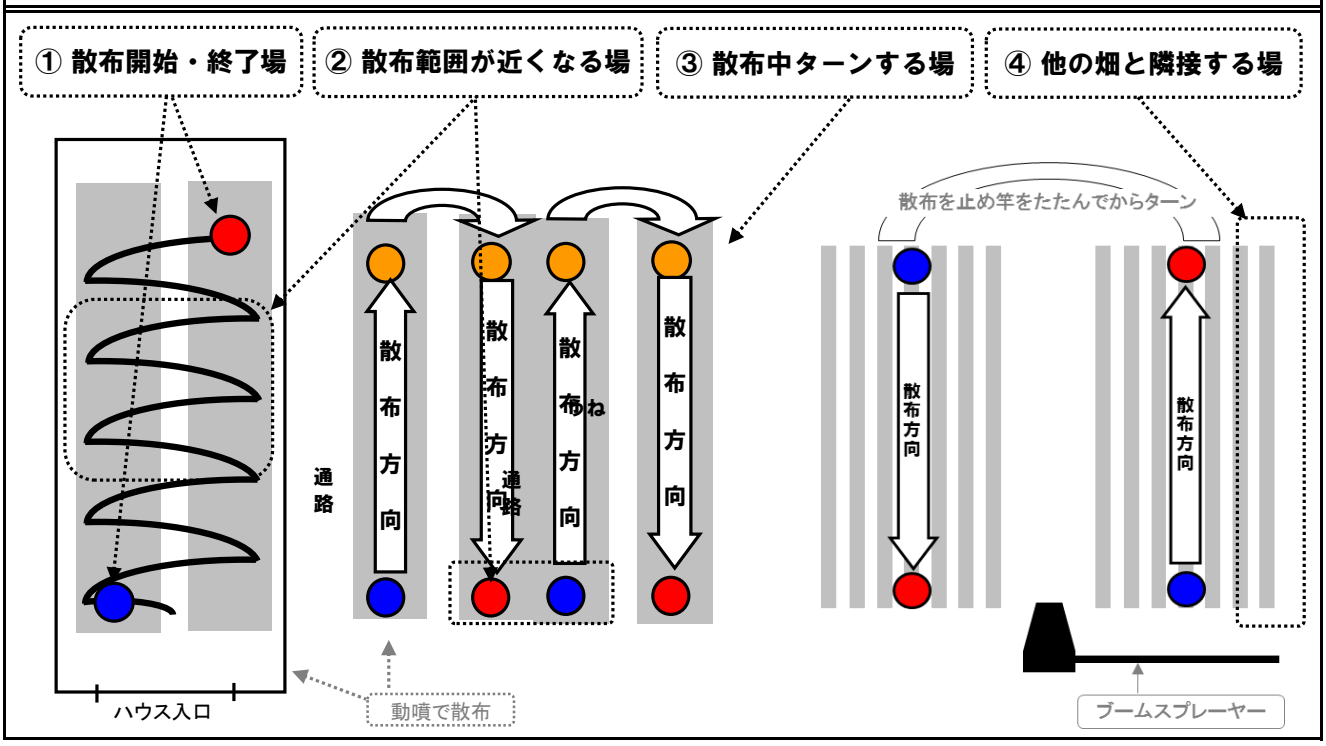



図:農薬が多くかかっていると思われる場所